

産業用汎用電気機器の出荷実績 2018年12月度及び第Ⅲ四半期(10~12月)

JEMAでは、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器における産業用汎用電気機器の市場動向等をより早くお伝えし、重電産業の景況を把握して頂くために、JEMA会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。

ここに、産業用汎用電気機器の輸出を含む、「12月度」「第Ⅲ四半期」の出荷実績を公表致します。

12月度の出荷実績

産業用汎用電気機器の12月度出荷実績は733億円(前年同月比92.3%)となり、7ヶ月連続の前年同月比減少となった。

(※以下、前年同月比は「同」と略記)

- ・中国を中心としたアジア設備投資の活況が続いていたが、米中貿易摩擦の影響もあり停滞感が表れ、輸出を中心にやや低調な動きが継続した。活況の中心である、半導体及びFPD(液晶、有機EL)の製造装置向けに減速が表れている。

【回転・駆動機器】

12月度の出荷額は259億円(同83.4%)となり、5ヶ月連続の同減少となった。

- ・三相誘導電動機(75kW以下)では、3ヶ月ぶりの同減少となった。
- ・汎用インバータでは、2ヶ月連続の同減少となった。
- ・サーボモータ(アンプを含む)では、半導体及びFPD(液晶、有機EL)製造装置向けの減速により、7ヶ月連続の同減少となった。

【配電・制御機器】

12月度の出荷額は317億円(同95.2%)となり、2ヶ月連続の同減少となった。

- ・標準変圧器(2,000kVA以下)では、3ヶ月ぶりの同減少となった。
- ・プログラマブルコントローラでは半導体及びFPD(液晶、有機EL)製造装置向けの減速により、11ヶ月連続の同減少となった。

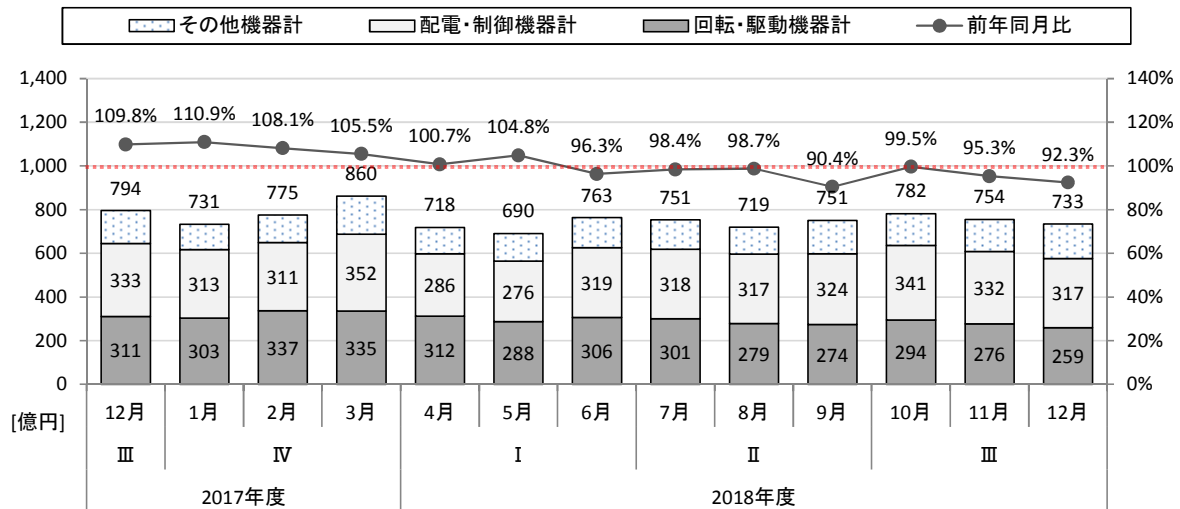
2018年度 第Ⅲ四半期(10~12月)の出荷実績

2018年度 第Ⅲ四半期(10~12月)の出荷額合計は2,269億円(前年同期比95.7%)となり、2四半期連続の前年同期比減少となった。

- ・中国を中心としたアジア設備投資の活況が続いていたが、米中貿易摩擦の影響もあり停滞感が表れ、輸出を中心にやや低調な動きが継続した。活況の中心である、半導体及びFPD(液晶、有機EL)の製造装置向けに減速が表れている。

月別推移

産業用汎用電気機器の出荷実績



産業用汎用電気機器出荷実績(下期)月別推移

単位: 億円, %

	2018年 10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月	下期計
出荷合計	782	754	733				2,269
前年比	99.5%	95.3%	92.3%				95.7%
回転・駆動機器計	294	276	259				829
前年比	92.8%	87.3%	83.4%				87.9%
配電・制御機器計	341	332	317				990
前年比	100.7%	99.3%	95.2%				98.4%
その他機器計	146	146	157				449
前年比	113.0%	103.6%	104.4%				106.8%

(注)各数値は単位未満を四捨五入しているため、合計値が一致しないことがある。

産業用汎用電気機器出荷統計の凡例

■対象(産業用汎用電気機器)

標準仕様で生産する量産品である産業用汎用電気機器を調査対象としております。

流通は代理店経由が多く、需要先は民需製造業の生産設備を中心に多岐にわたります。

産業用汎用電気機器は、回転・駆動機器、配電・制御機器に区分され、製品ごとの出荷実績額を把握することができます。

■公表の内容

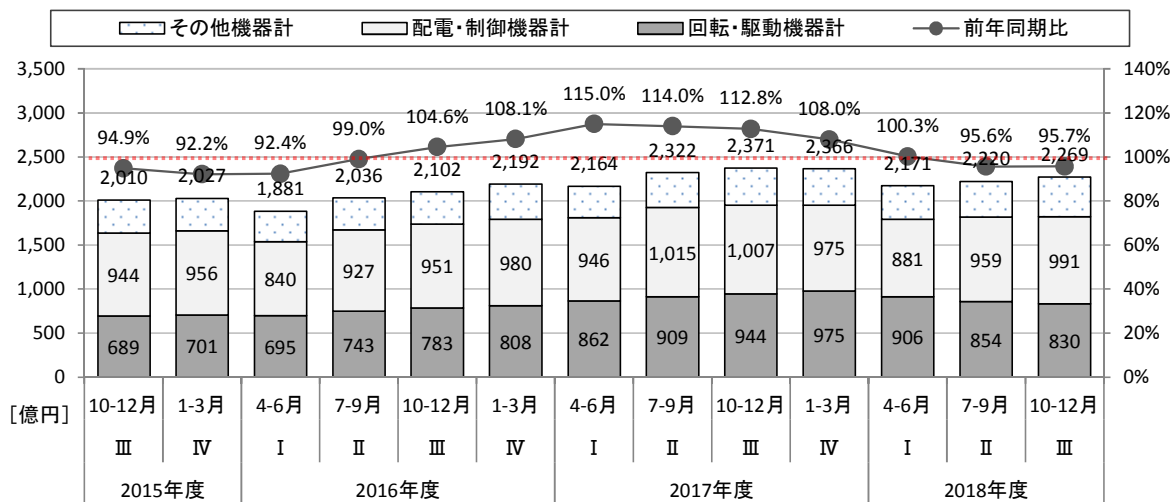
単月の産業用汎用電気機器全体の出荷実績額、主要製品の輸出を把握することで、国内外の市場動向をより早く掴むことが出来ます。また、産業用汎用電気機器の出荷実績では直近の国内外の景況の判断材料として活用できます。

■公表の種類

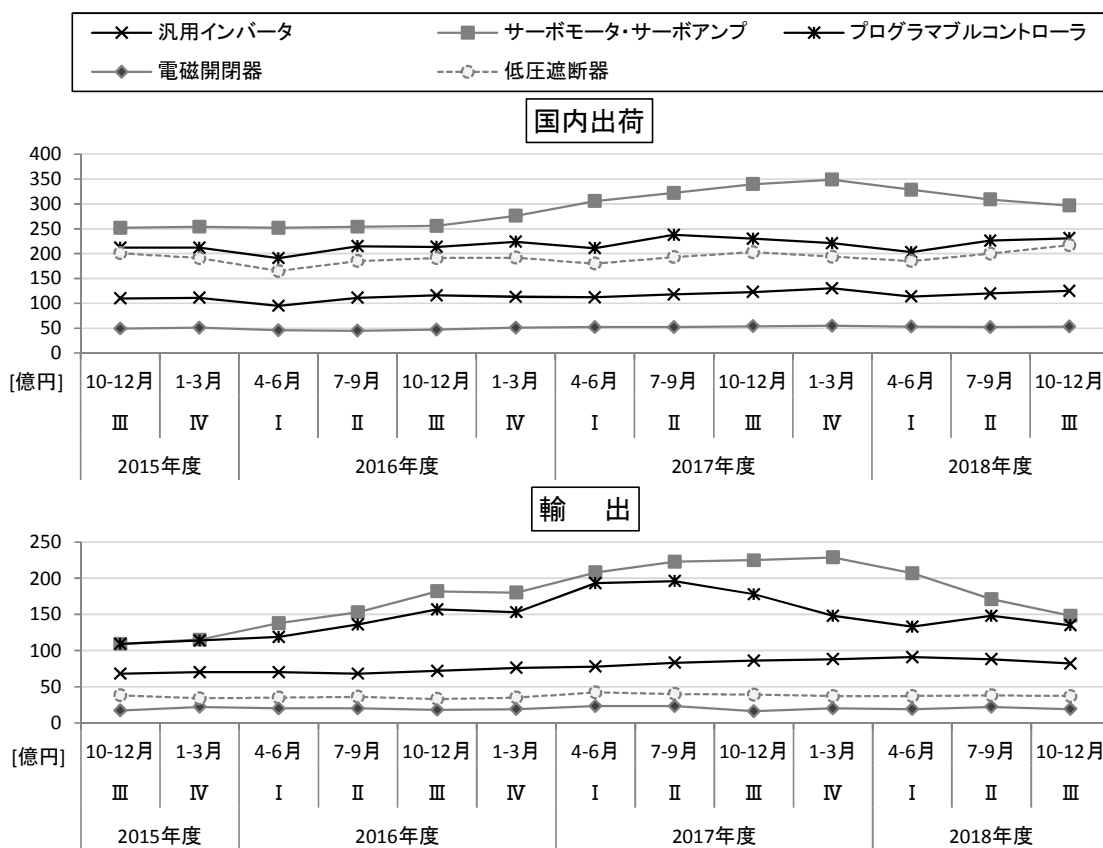
JEMA 会員独自で実施している自主統計を月次で公表致します。

四半期別推移

産業用汎用電気機器の出荷実績



主要機器の出荷実績



本資料に関する弊会問い合わせ先

TEL: 03-3556-5885

重電部 調査統計課